



芝山小だより

5月号

清瀬市立芝山小学校

校長 清水 一臣

<http://www.kiyose.ed.jp/>

学校再開の日を目指して、一日一日を大切に・・・ —児童のアンケート結果と今後の健康観察日について—

校長 清水 一臣

4月8日から始まった今年度の臨時休校は、今日（5月8日）で31日間となりました。5月4日には総理大臣による緊急事態宣言の延長が発表されました。世界的な規模での感染拡大とそれに伴う緊急措置とは言え、子供たちの心身の健康が心配されます。先日行った児童向けアンケートには2年生から6年生までの児童211名（74%）が回答し、この間の家庭での生活の様子や心情を報告してくれました。

質問1では、休校期間中の家庭での過ごし方の中で最も多いものを選んでもらいました。結果は「家の中で遊んでいた」（40%）「家の外で遊んでいた」（10%）「パソコンやスマートフォンをつかってすごしていた」（15%）「テレビをみてすごしていた」（12%）「勉強や本を読んですごしていた」（17%）その他（学童、ゲーム、工作、兄弟姉妹の世話、お手伝い、お絵かき）となりました。

また、質問2で休校期間中に一番困っていることを尋ねたところ、「友達に会えない」「友達と遊べない」「勉強が遅れる」「運動不足になる」などの回答が多く見られました。さらに新型コロナウイルスが広まって、思ったり、考えたりしたこととして、「新型コロナウイルスの恐ろしさが分かった」「手洗いやうがいやマスクなどの大切さが分かった」「早く終息してほしい」「家にいるなど身を守ることが大切だと思う」「このようなことになって、日常の大切さが分かった」など、子供たちの考えていることがとてもよく伝わってきました。

今回このようなアンケートを実施させていただいたのは、子供たちがこれまでに経験したことがない状況に遭遇する中で、どのような生活を送り、どのようなことを考えたり感じたりしたかを把握することで、学校再開以降の児童理解の一助にしたいと考えたからです。多くの子供たちが一生懸命に回答してくれました。ご家庭のご協力にも感謝申し上げます。

また、副校長からの俳句の募集にもたくさんの子供たちが投句してくれました。その数のべ500以上。その中から優れた俳句を厳選して裏面にご紹介します。

さて、5月11日(月)以降も緊急事態宣言の解除がない限り休校が続きます。芝山小学校では、今後も毎週月曜日（2・4・6年生）と火曜日（3・5年生）に時間を区切って健康観察日を設け、学級担任が一人一人の児童に言葉をかけながら健康状態を確認し、毎週の課題を提供してまいります。ただし、これは義務ではありませんし、全員参加を原則としているものでもありません。健康がすぐれないときや感染についてご心配がある場合は、別の日に保護者の方が受け取りに来ていただいても結構ですし、外出を控えている方は、学校が再開されてからでも結構です。当日来校できない児童については、学級担任の方から電話等でご連絡いたします。学校では、一定の距離をとりつつ、短時間での授受に限定するなど、安全には細心の注意を払っております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

5月11日(月)と12日(火)には、学年ごとに**1週間の学習計画表の用紙をカード**にして配布します。お子様とよく相談の上、学年が提示したメニューに沿って1週間の学習計画を立て、学習と生活のリズムをしっかり保った生活を送るようにしてください。（詳しくは学年だよりをご覧ください。）

また、当日は国から配布された**児童用マスク**を児童一人一人に配布します。

さらに、子供たちの中には本を読みたいと思ってうずうずしている児童も多いかと思えます。遅くなりましたが、5月18日(月)と19日(火)の学年別の健康観察日には**図書貸出日**として、**児童一人につき3冊までの本を貸し出します**。貸し出しを希望する児童には袋を持たせてください。

最後に、家庭で不安定になっているお子様や日常生活のことでご心配がある保護者の方のために、5月19日(火)と26日(火)の午前中2日間、**本校の秋元世志枝スクールカウンセラーが学校に控え、ご相談に応じます**。相談をご希望される方は、前もって電話にて予約をしてください。児童本人でも保護者の方だけでも結構です。（SC推薦の相談サイトも参考にしてください。）

「心の耳」 https://kokoro.mhlw.go.jp/etc/coronavirus_info/

先が見えない毎日ですが、もう少しの辛抱です。再開の日を目指して、くれぐれも健康に留意し、一日一日を大切に過ごしてまいりましょう。